

医療機関の経営者・管理者の皆様へ 医療スタッフの方がもっといきいき働く職場を目指しませんか？

医療従事者の勤務環境が厳しい中、質の高い医療サービスを継続的に提供するためには、勤務環境の改善により、医療従事者が健康で安心して働くことができる環境整備が大変重要です。医療機関の皆さまは、健康で安心して働くことができる職場環境づくりに努められていることと思います。しかし、勤務環境の改善に当たって、「何から手を付けてよいかわからない」といったお悩みの声もあります。そうした皆さまに、「医療勤務環境マネジメントシステム」をご案内します。

- ☑ 働き方や休み方の改善（長時間労働の改善に向けた職種ごとの負担軽減等）
- ☑ 職員の健康支援（メンタルヘルス対策等）
- ☑ 働きやすさ確保（仕事と子育て・介護の両立支援等）
- ☑ 働きがいの向上（キャリアアップ支援等）

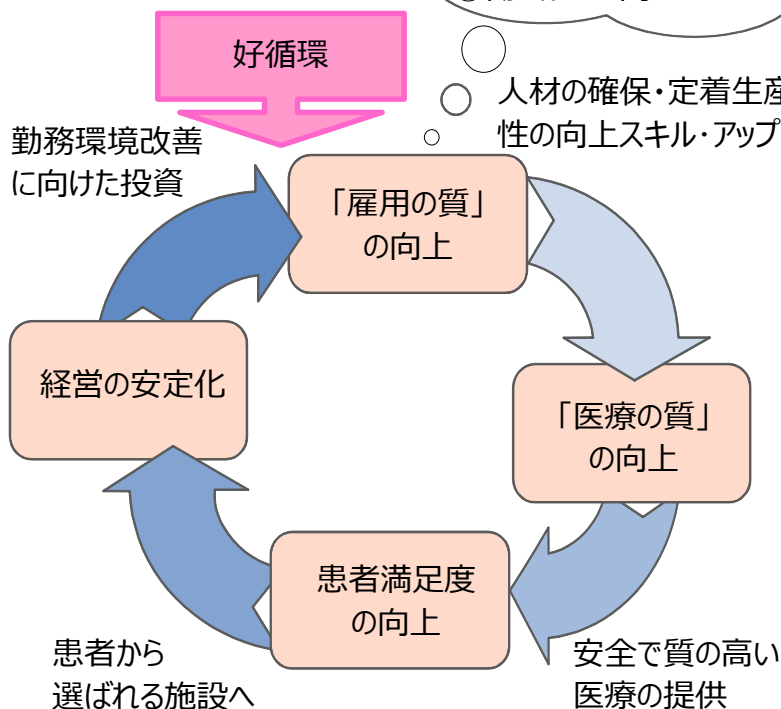


改善したいけど、どこから手をつけたらいいんだろう・・・？

医療勤務環境改善マネジメントシステムを活用してみませんか？

- ① 医療従事者の働き方・休み方の改善
- ② 医療従事者の健康支援
- ③ 働きやすい環境整備
- ④ 働きがいの向上

人材の確保・定着生産性の向上スキル・アップ

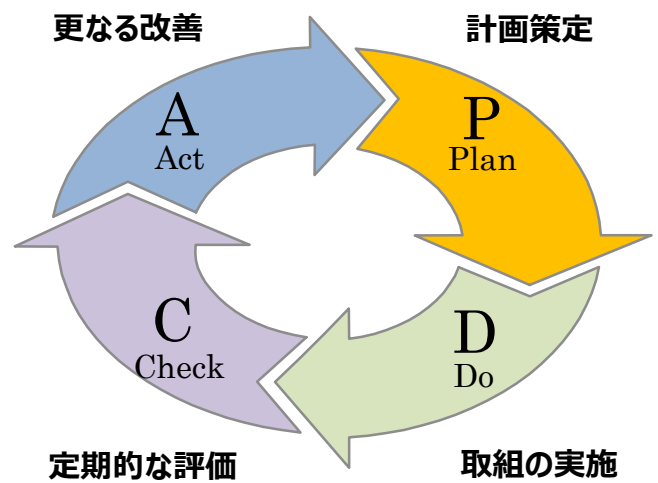
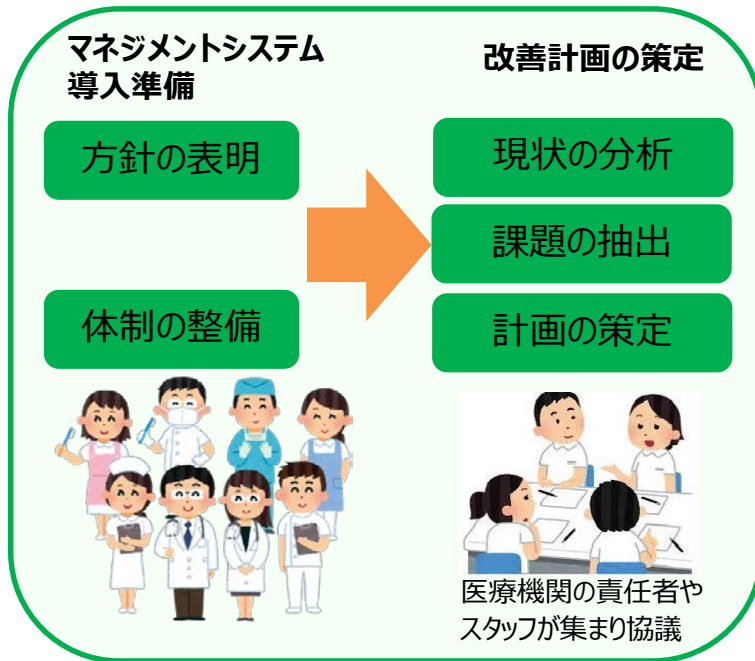


- 医療従事者にとって
= 勤務負担の軽減、働きがいの向上など
- 患者にとって
= 質の高い医療が提供されるなど
- 経営にとって
= コストの適正化、経営の質の向上など

医療従事者、患者、経営にとって
WIN-WIN-WIN となるような
好循環を作る

医療勤務環境改善マネジメントシステムとは？

- 医師、看護職、薬剤師、事務職等の幅広い医療スタッフの協力の下、一連の過程を定めて継続的に行う自主的な勤務環境改善活動を促進することにより、快適な職場環境を形成し、医療スタッフの健康増進と安全確保を図るとともに、医療の質を高め、患者の安全と健康の確保に資することを目的としています。
- 各医療機関において、それぞれの実態にあった形で、自主的に行っていただく仕組みです。
 - 医療機関の勤務環境改善に関する改正医療法の規定が平成 26 年 10 月 1 日から施行され、厚生労働大臣が定める指針(医療勤務環境改善マネジメントシステムに関する指針)に基づき、各医療機関において具体的な取組を行うよう努めることとされています。



医療勤務環境改善の領域と取組例

- 4つの領域における幅広い取組例の中から、各医療機関が自組織の現状に応じて、優先順位をつけて計画的に取組を進めていきます。

働き方・休み方の改善

(例)

- ① 時間外労働の削減
- ② 休暇の取得促進
- ③ 夜勤負担の軽減策
- ④ 多様な勤務形態の活用、勤務シフトの工夫
- ⑤ チーム医療、多職種連携の推進……等

働きやすさ確保のための環境整備

(例)

- ① 院内保育所や休憩スペースの設置
- ② 短時間正職員制度の導入
- ③ 子育て・介護中の職員に対する残業免除
- ④ 男性職員の育児休業取得
- ⑤ 職員の安全確保(暴言、暴力等への対策)・等

職員の健康支援

(例)

- ① 医療スタッフの健康診断の受診率向上
- ② メンタルヘルス対策
- ③ 感染症対策
- ④ 腰痛対策……等

働きがいの向上

(例)

- ① 専門職としてのキャリア形成
- ② 法人内での人事ローテーション
- ③ 産休・育休からの復帰後のキャリア形成の支援……等

いきいき働く医療機関サポート Web（いきサポ）とは？

- いきいき働く医療機関サポート Web（いきサポ）は、医療機関の経営者・管理職の皆さまが、医療従事者が健康で安心して働くことができる職場環境づくりに取り組む際に参考となるさまざまな情報を提供するウェブサイトです。
- 勤務環境改善に取り組み、成果を出している医療機関の事例も紹介しています。「こんな事例はないかな？」と思ったら、取組の内容、所在地、病院の規模などで検索できます。
- 医療従事者の勤務環境改善のために、ぜひ本サイトをご活用ください。

<http://iryoin-kinmukankyoku.mhlw.go.jp/> → 「いきサポ」で検索

主なコンテンツ・機能

- ◇ 国・都道府県や関係団体が行っている施策や事業等を紹介（関係法令・通知、医療勤務環境改善マネジメントシステムに関する指針・手引き、都道府県の各種助成金・相談事業等）
- ◇ 医療機関が勤務環境改善に取り組んだ具体的な事例を紹介
- ◇ 医療機関の取組事例や勤務環境改善のアイデアを投稿することが可能
- ◇ 掲載事例に対してコメントを掲載でき、意見交換の場として利用することが可能

紹介している取組事例（一部）

（例）

- ① 慢性的な看護師不足と離職率が17%近くまで上昇したことを契機に、ワークライフバランスの充実により、看護師から選ばれる病院を目指す。
- ② 理事長の主導の下、短時間正職員制度の導入、院内保育所の整備などの各種取組を実施。
- ③ 2年後には離職率が4%台まで大幅に改善し、職員満足度が向上。

（例）

- ① 他病院との競争や透析業務の3Kイメージにより看護職員の確保が厳しいため、理事長のリーダーシップの下、経営幹部と現場との協議により対策を検討。
- ② 透析室の勤務シフト設定の見直し、フレックスタム制度・夜勤専従制度・短時間正職員制度等の導入、古武術介護教室などによる健康支援、資格取得者や学会発表者に対する手当支給などを実施。
- ③ 職員の定着や医療サービスの質の向上につながっている。

各都道府県の医療勤務環境改善支援センターにご相談ください

- 都道府県ごとに医療勤務環境改善支援センターの設置が進められています。
 - 医療勤務環境改善支援センターでは、専門のアドバイザーが勤務環境改善マネジメントシステムの導入支援や労務管理分野や医業分野に関する相談等への対応を行っています。何にどう取り組もうか迷ったら、お気軽に各都道府県の支援センターにご相談ください。
⇒各支援センターの連絡先は、「いきサポ」>「役に立つ情報」>「6.各都道府県の医療勤務環境改善支援センター」からご確認ください。
- ※ 支援センター未設置県（宮城県、山梨県、鹿児島県）では、社会保険労務士による「医療労務管理相談コーナー」を暫定的に設置しています。

【医療勤務環境改善支援センター設置都道府県】



マネジメントシステム導入の手引き

医療勤務環境改善マネジメントシステム導入のための具体的な手引きです。現状分析や目標設定など取組を進める各過程でご利用いただける支援ツールも含まれています。支援ツールは「いきサポ」からダウンロードできます。

<医療分野の「雇用の質」向上のための勤務環境改善マネジメントシステム導入の手引き（改訂版） 構成>

1. 勤務環境改善マネジメントシステム導入のねらい・目的
2. マネジメントシステム導入のフローと具体的な進め方
3. マネジメントシステム導入に関する取組事例の紹介
4. マネジメントシステム導入の支援ツールの使い方
5. 「雇用の質」向上の取組メニュー
 - ①働き方・休み方改善 ②職員の健康支援
 - ③働きやすさ確保のための環境整備 ④働きがいの向上
6. 「雇用の質」向上の取組メニューの実施例
7. その他の支援ツール（労務管理チェックリストなど）
8. 参考情報

